

|       |       |      |           |   |      |      |
|-------|-------|------|-----------|---|------|------|
| 指定校番号 | 28097 | 学級活動 | 児童会・生徒会活動 | ○ | 学校行事 | 別紙様式 |
|-------|-------|------|-----------|---|------|------|

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

|     |            |    |      |        |      |
|-----|------------|----|------|--------|------|
| 学校名 | 東広島市立向陽中学校 | 校長 | 大井博夫 | 生徒指導主事 | 二川義美 |
|-----|------------|----|------|--------|------|

**取組事例名 『生徒会を中心とした生徒の自主性を育てる部活前集合』**

**取組のねらい『キーワード 自主性の育成』**

部活前集合の取組を教師主導から生徒会主導にすることで生徒の自主性を伸ばす。

また、生徒自らが取組目標を設定し、達成する過程を通して、生徒に自信をつけさせる。

さらに、部活前集合において、「挨拶」、「時間を守ること」、「整理整頓」等を習慣化することを通して、学んだことを学校生活に生かす。



**取組の具体的内容『キーワード 経験』**

- ・部活前集合が充実した自主活動になるように、生徒会執行部と各部活動の部長が事前の打ち合わせを行う。
- ・生徒会執行部と部長が協力して速やかな集合を促し、担当者が毎回時間を計り、目標時間達成を目指す。また、担当者が集合状態や行動の変化を評価したり、全体の前で活動状況や大会結果等を発表する経験を通して、リーダーとしての自覚を持たせる。
- ・生徒会執行部が中心となって毎日の活動の反省を行い、明らかになった課題を改善する。

**取組の課題・創意工夫『キーワード 変えよう』**

**課題**

- ・外部のスポーツクラブに所属している生徒は、学校での部活に所属しているが帰属意識が低いことから意欲的な活動につながらない。
- ・部活前集合の取組を学校生活の充実につなげていくための具体策の検討をする。



**創意工夫**

○学校生活の充実につなげる工夫

- ・取組を向陽三訓と関連付ける。
- ・生徒会を中心とした新しい伝統を作り上げようとする気運を高める。
- ・「目指せ向陽一、東広島一、県一、そして全国一へ」をスローガンに、部活前集合を生徒会・部活動の発表・交流・高め合う場とする。

○生徒に自信をつけさせる工夫

- ・生徒に全体で発表する機会を与える。
- ・「設定時間内に集合する」という目標を一人一人が意識して行動できるよう、生徒が中心となって声かけを行う。
- ・全員での取組を通して、連帯感を共有させる。

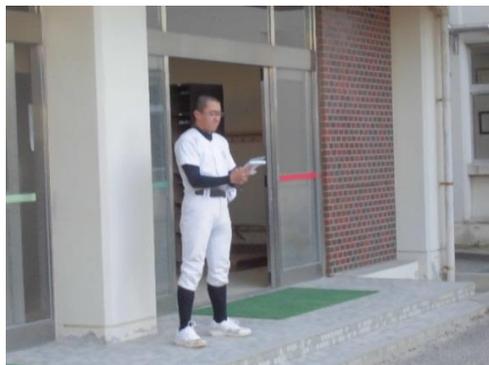
## 取組の成果（効果）『キーワード 自覚と自信』

- ・ 生徒会執行部の新しい取組と各部長のやる気が、生徒全体に広がり、「自分たちの代で部活前集合から新しい向陽中学校の伝統を作り上げていこう」とする意欲につながっている。
- ・ 生徒会や各部長が部活前集合の司会を経験することで、落ちついて発言できるようになり、リーダーとして自信を持って行動できるようになってきている。
- ・ 気持ちのよいあいさつができる生徒、花いっぱい運動等のボランティア活動に参加する生徒が増えている。また、周囲に対する感謝の思いを伝えることができる生徒の姿も見られるようになってきた。



## 今後の展開『キーワード 楽しもう』

生徒会を中心に学校生活の向上（挨拶・時間・整理整頓・ルールとマナー等）に向けて取り組む。また、部活前集合において、生徒全員が活動に参加し、自分たちが主体的に行動することを楽しめるようにする。



- ・ 行事（卒業式・入学式など行事）を成功させるため、生徒会と部長による合唱団を結成し、モデルをみせる。
  - 生徒全員で歌声を作る。
- ・ 「向陽三訓」（明るい挨拶・丁寧な言葉遣い・人を思いやる心）を徹底できるようにする。そして、東広島一、県一そして全国一を目指す。
  - 生徒会や教師が評価する。

## 他校へのアドバイス『キーワード しくむ』

- ◎ 「自分たちがやる。自分たちで変えている。」という主体的な活動になったとき、生徒は一生懸命活動する。また、生徒自身がそのことを通して、どう変わるか・どんなよいことがあるか実感したとき、集団自治能力は高まる。生徒の実態を見て、何をどう仕組んでいくかというビジョンを持つことが大切であると考えます。
- ◎ 活動の目的を教職員・生徒で共有する。
- ◎ 生徒のやる気を継続させるために取組内容をしっかり吟味する必要がある。

